

都市につくられた 里山の生き物さがし

日時: 2025年 10月4日 (土)

予備日: 10/5(日)

午前10時~12時 昆虫(むし)と植物の観察

※午後1時~3時 教員対象イベント「生物多様性教育を考える勉強会」

集合: 新川崎ふれあい公園・体験の森ゲート前 9時50分

最寄り駅 JR南武線 平間駅から徒歩約15分

対象: 子ども(5歳児以上)とその保護者、中高生・大学生、成人 30名

新川崎ふれあい公園(川崎市幸区)は、鉄道操車場の跡地につくられた川崎市の都市公園です。2011年、その一角に、川崎市と市民が協働して育てた樹木苗86本が植栽され、「体験の森」として親しまれています。木を植えてからおよそ10年が経過し、「体験の森」にはクスギ・コナラを主体とした落葉広葉樹林(里山)が発達し、農体験ができるスペースとともに、貴重な自然体験の場となっています。

昆虫(むし)と植物
どっちがおもしろい?!

昆虫と植物の専門家が
おもしろさを競い合います

わたしたちが講師を担当します

昆虫(むし)

VS

植物(草木)



川島 逸郎
(かわしまいつろう)

昆虫画家/元・川崎市青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)学芸員



倉田 薫子
(くらたかおるこ)

横浜国立大学教育学部教授
総合学術高等研究院(兼任)/
同 里山ESD研究拠点拠点長



矢ヶ崎 朋樹
(やがさきともき)

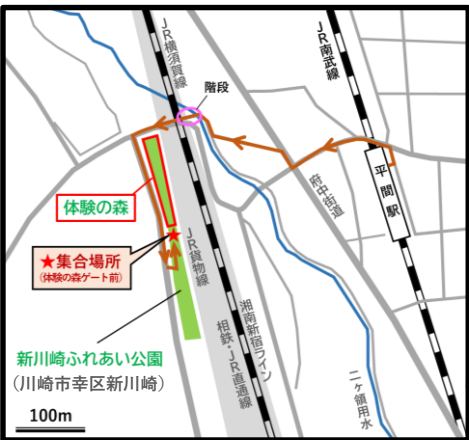
IGES国際生態学センター上級
主幹研究員/横浜国立大学総
合学術高等研究院 客員教授

当日の予定

- 09:50 集合(ゲート前)
- 10:00 あいさつ、注意事項説明
- 10:10 生きもの観察 開始
- ↓
- 体験の森散策
- ↓
- 12:00 ゲート前到着
アンケート記入
- 12:15 解散
- 以降、教員限定 ----
- 13:00 生物多様性教育を考える
勉強会(15:00頃迄)

「生物多様性教育を考える勉強会」とは?

教員を対象とした全4回の勉強会で、専門家の講義をきいたり、相互の意見交換をしたり、フィールドで活動したりしながら、生物多様性教育の在り方や実践などを探っていきます。本学習会との同時開催となります。



◆参加費 無料

◆申込方法 下記ウェブサイトよりお申込み下さい

<https://jise.jp/jp/2025/09/10/20251004/>

◆申込期限 2025年9月19日(金)17:00 ※応募多数の場合、抽選

◆問い合わせ jise@iges.or.jp (左記アドレスへ、メールにてお願いします)



主催: 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 国際生態学センター (JISE)

共催: NPO法人幸まちづくり研究会 新川崎ふれあい公園管理運営協議会 横浜国立大学里山ESD BASE 後援: 川崎市